



令和2年度
“牛のため”の環境



令和3年度
和牛の“持続可能性”





第4回大会 取組評価部門 優秀賞



第5回大会 取組評価部門 優秀賞
枝肉評価部門 優秀賞
総合評価部門 最優秀賞

これまでの活動テーマ

■ 1年目 令和2年度

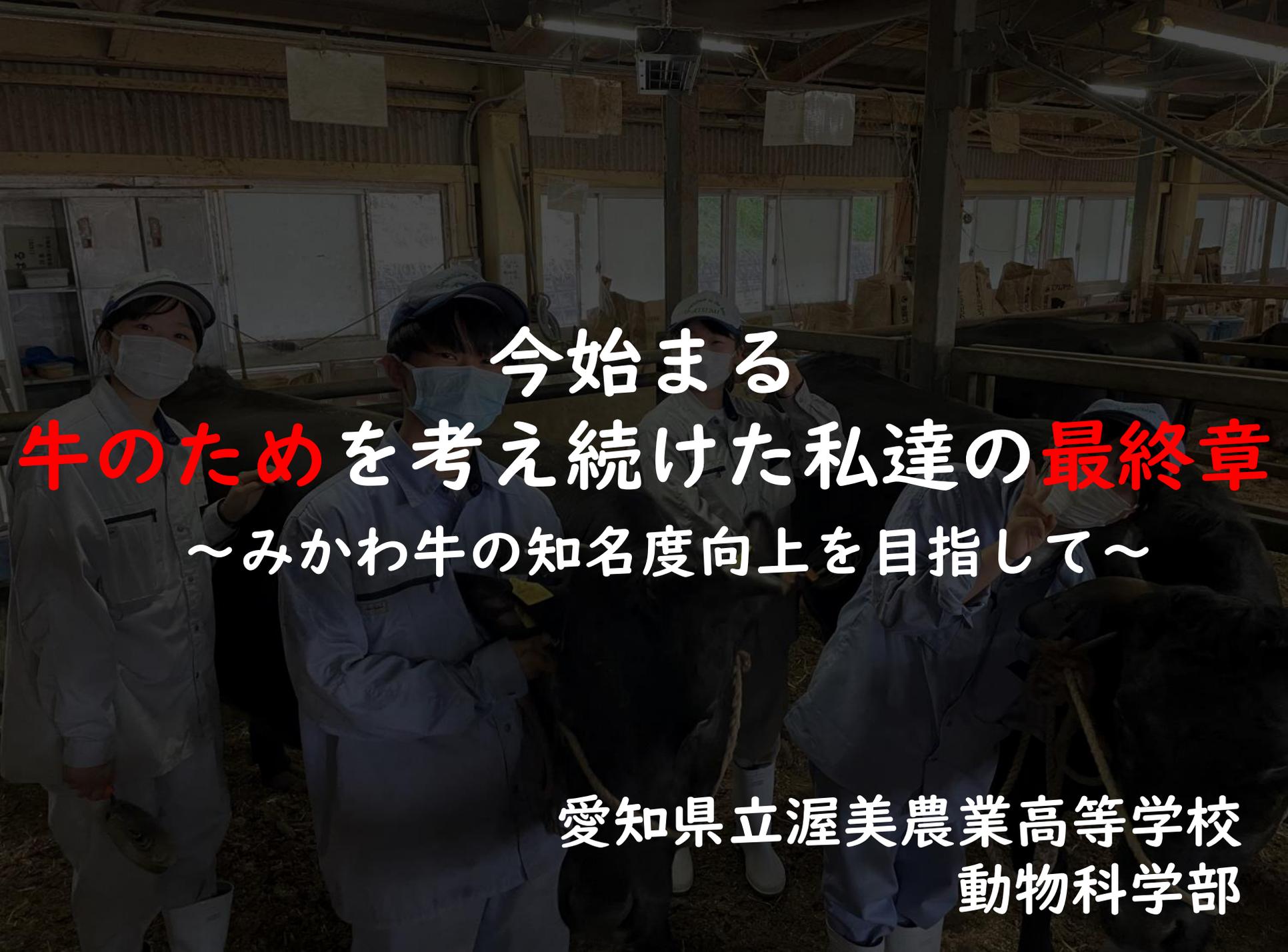
“牛たちに快適に過ごしてほしい”

牛のための環境づくり

■ 2年目 令和3年度

“大好きな牛、和牛生産をいつまでも”

和牛の持続可能性

A photograph of four individuals wearing white protective suits and face masks, standing in a barn. They are surrounded by several black cows. The barn has wooden beams and large windows in the background. The text is overlaid on the image.

今始まる
牛のためを考え続けた私達の最終章
～みかわ牛の知名度向上を目指して～

愛知県立渥美農業高等学校
動物科学部

令和4年度活動目標

“愛知の和牛生産をいつまでも”



愛知が誇るブランド和牛
“みかわ牛の知名度向上”

みかわ牛とは

■ みかわ牛の条件

- ☑ 認定農場で1年以上肥育
- ☑ 肉質等級4等級以上
- ☑ 県内3食肉市場に出荷
(名古屋・半田・東三河)

■ 愛知県内の生産状況

約60戸で年間約2600頭生産

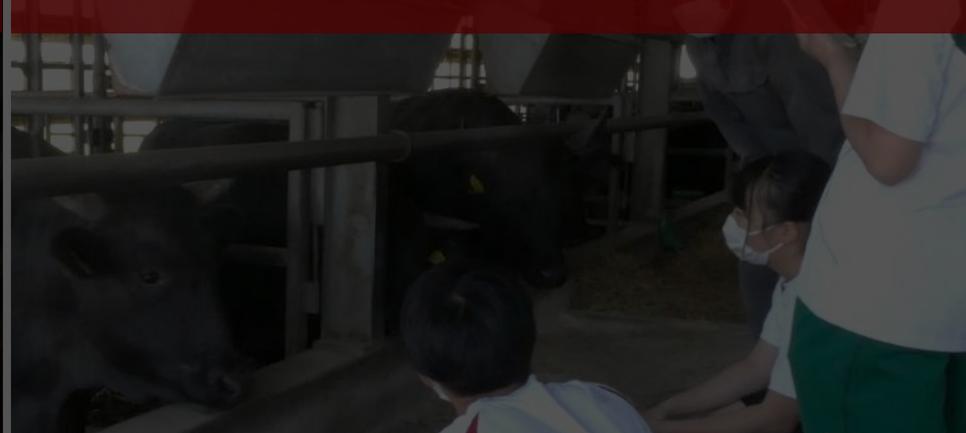
みかわ牛の課題 “全国的な知名度の低さ”



みかわ牛便りの作製



みかわ牛生産者訪問



みかわ牛を知ってもらうために
いま、私たちができることは????



全国和牛能力共進会



PR活動

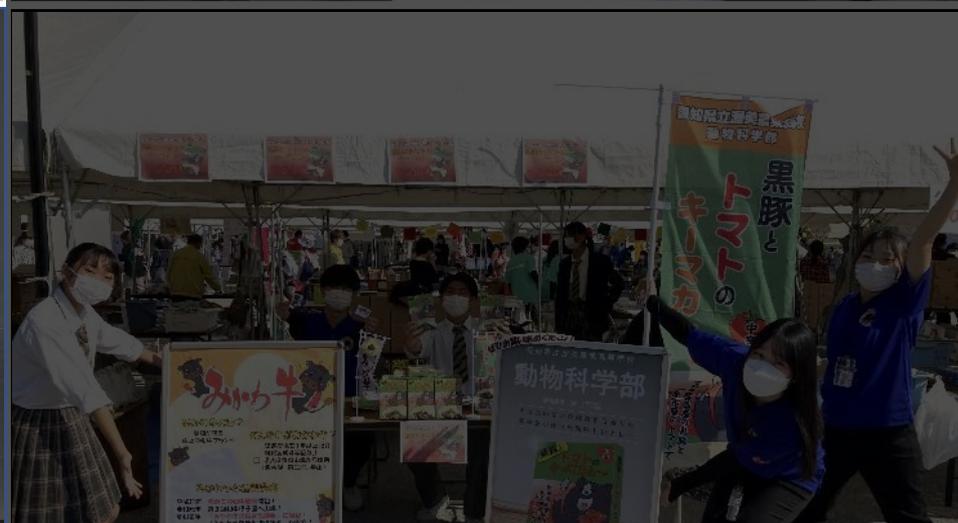
みかわ牛便りの作成



みかわ牛生産者訪問



全国和牛能力共進会



PR活動

取組 | みかわ牛便りの作成

はる・まろの肉質診断を実施！

和牛甲子園まであと少しとなった、出品牛2頭の肉質診断を実施しました。今回も、知多大動物病院の先生方に協力いただきました。はる・まろと共に、推定BMSは8番以上となり、5等級を狙える一安心の結果となりました。

出荷前最後の肉質診断を終えたら、いよいよカウンタウンが始まります。和牛甲子園は1月21日にオンラインで開催されますが、牛たちは1月18日、一足先に東京へと向かいます。

先日、肥育体験発表審査のための発表動画を撮影し、提出しました。昨年度、取組評価部門では優秀賞を獲得しています。今年度は、昨年以上の結果になるよう、満足できる1本を提出しました。

取組評価部門だけでなく、肉質評価部門でも入賞できることを願って、牛たちにも期待がかかります。

	はる	まろ
ロース芯面積	62cm ²	82.0cm ²
バラ厚	8.8cm	9.0cm
皮下脂肪厚	3.7~4.0cm	2.8~2.7cm
BMS No.	8	11+



動物科学部通信

Vol.26
令和3年
12月

“動物科学部通信”

毎月1部を学校HPに掲載

動物科学部通信の目的

- ・動物科学部の取組紹介
- ・畜産の魅力を伝える



メディアからの取材依頼！

広報紙作成やHP掲載はPR方法として有効！



↑右が①、左が②



黒豚トマトカレー 二度目の試食会

12月22日、本校でカレーの試食会を開催しました。このプロジェクトに関わる方々にお越しいただき、みんなで試食しました。前回、初めての試食会で選んだ2つのパターンのカレーを改良していただき、新しく2つのカレーを比較しました。色や、スパイス、豚肉やトマトの配合量も違う2つのカレーにはそれぞれの良さがあり、意見が分かれました。試食後、アンケート記入や投票を行い、2つのうちから、色が黒い②のカラーが選ばれました。次回、この黒カレーを基準に、最終調整の試食会となります。あとはパッケージ製作も並行して行い、1月、2月にかけての新商品完成を目指します。

また、年明けには、新たに豚生産性向上や、規格外トマトの飼料価値を確認するための追加実験も進めていきます。新たに2年生もメンバーに加わり、これまでの活動が3年生から引き継がれていきます。このプロジェクトと一緒に参加してみたい人、募集します！

校内プロジェクト発表会 結果



【最優秀】
分野Ⅰ類 生産・流通・経営
発表題目：畜産女子の青春の日々
「和牛」が未来へ続いていくために



【優秀】
分野Ⅱ類 開発・保全・創造
発表題目：広がる！規格外トマトの可能性！

12月8日に校内プロジェクト発表会が開催され、動物科学部から出場した2チームが見事入賞。来年度の県大会出場を決めました。牛班は和牛甲子園に向けた活動、豚班はカレープロジェクトに関する取組を発表しました。来年度開催される県大会へ向けて、それぞれの活動をこれからも頑張っていきます。

取組 1 みかわ牛便りの作成

渥美農高の取組み

みかわ牛便り 1号

私たちは昨年度から、みかわ牛の知名度を向上させるための活動を始めました。私たちが所属する動物科学部では、和牛の肥育をし、年間2頭、和牛甲子園という大会に出展しています。昨年度、その大会に出荷した肥育牛から、愛知県が誇る和牛ブランド「みかわ牛」の生産を開始しました。「みかわ牛」というブランド牛を生産に挑戦する中で、この素晴らしいブランド牛をもっと多くの方に知ってもらいたいと思うようになりました。昨年度の活動として、本校で生産したお米を販売しました。そのお米は、本校で飼育する牛の飼料として稲わらを生産するために栽培したお米です。稲わらは牛へ、そしてお米は人へ食べてもらうため、精米を渥美マーケットなどで販売しました。その際に、お米のラベルにQRコードを掲載し、そこからみかわ牛の情報や部活動を知っていただけるようにしました。

実際に、本校では多くのみかわ牛を生産することができます。しかし、牛を育てる以外の方法でも多く販売することができました。この「みかわ牛便り」もそのひとつです。私たちが作ったこのみかわ牛便りを見た人に、少しでもみかわ牛の魅力を伝えられるように、良い内容をお届けできるように頑張ります。



みかわ牛とは？

みかわ牛は、平成2年にブランドとして確立し、現在まで愛知県の和牛ブランドとして生産されています。令和2年9月には販売促進やブランド力向上を目的とした「みかわ牛銘柄推進協議会」が設立され、他県のブランド牛に並ぶような知名度の向上を目指して動きが進んでいます。県内54か所の農場で生産されており、どの生産者の方もそれぞれこだわりを持って、良質な肉を生産しています。

みかわ牛の課題として、1番に挙げられる課題は「知名度の低さ」です。県内消費がほとんどで、他県へ知ってもらう機会が決して多くはありません。愛知県の和牛生産者の方のこだわりがたくさん詰まったおいしいみかわ牛を、多くの人に食べていただく、愛知県の和牛生産の魅力を知っていただくために、これからは様々な方法で宣伝活動を続けていかななくてはなりません。

みかわ牛の定義

- 一、認定農場で一年以上肥育
- 二、肉質等級四等級以上
- 三、県内三食肉市場に出荷

みかわ牛生産者紹介 Vol.1

～愛知県立渥美農業高等学校～

田原市中央に位置する渥美農業高校では、昨年みかわ牛としての出荷を実現しました。渥美農業高校では、これまで繁殖経営を中心に進めてきましたが、全農主催の和牛甲子園が開催されたことをきっかけに和牛肥育への挑戦を開始しました。現在、母牛17頭を基盤に、年2頭だけ肥育牛を和牛甲子園に出品しています。みかわ牛の生産に挑戦している農業高校は渥美農業高校だけです。生産するだけでなく、みかわ牛の卵にも全力を尽くしていきます。



PR活動の周知

- 本校の取組紹介
- 今後のPR活動

“みかわ牛”を学ぶ

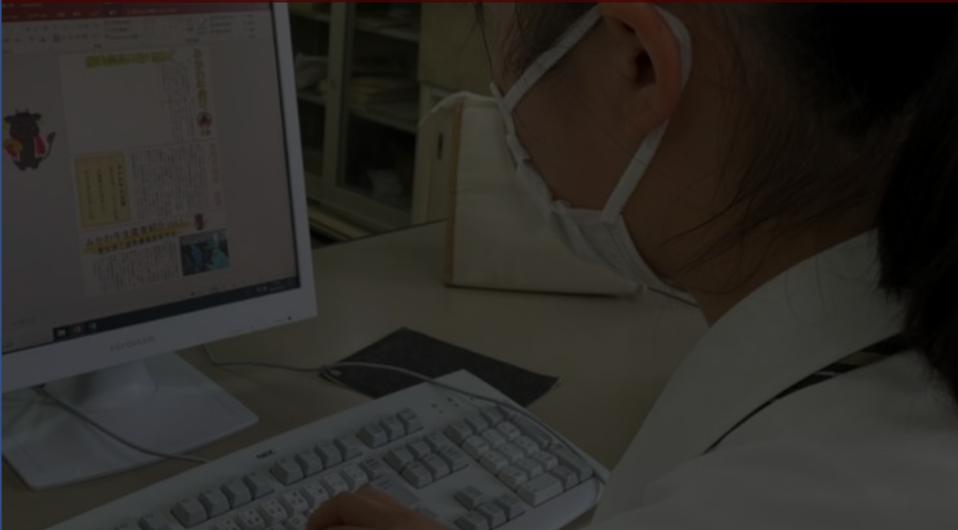
- みかわ牛の知識
- 共励会の結果

こだわりを学ぶ

- 生産者紹介

学校HP&みかわ牛HPへの掲載が決定!

みかわ牛便りの作製



みかわ牛生産者訪問



全国和牛能力共進会



PR活動

取組2 みかわ牛生産者訪問

■ いらご高木ファーム様



- 一貫経営の工夫
- 動物福祉への配慮

■ 渡辺 義苗様



- 肥育の群編成
- 細かな健康観察

牛の見方・ステージごとの着目点を学習

取組2 みかわ牛生産者訪問

マスコットキャラクター製作

みかわ牛便り



2号

私たちは今年度から、みかわ牛の知名度を向上させるため、マスコットキャラクターを考案しました。
愛知県が誇る、みかわ牛というブランドをもっと多くの人に知ってもらいたいと考え、私たちが何ができるのかを話し合いました。ポスターやロゴを作成してみてもいい案も出ましたが、ただポスターやロゴを作るだけでは印象に残りづらいです。そこで、どの年代にも親しまれるようなマスコットキャラクターを考え、3月活动を幅広く行うきっかけにすることにしました。
マスコットキャラクターを作成する際、見ただけで、何のキャラクターかわかる見込にすること、親しみを持ってもらえるような可愛らしい見た目にすることにこだわりました。「JAの系統飼料を給与する」というみかわ牛の条件に合うよう、飼料袋を持たせ、出荷者協議会の法被を着せました。また、見ただけでみかわ牛を連想させるようなキャラクターにはできないかもしれませんが、さらなる改良と工夫を重ね、いつかは公式キャラクターとして使ってもらえるような、多くの人に愛されるキャラクターにしたい。「愛知といえはみかわ牛」と思ってもらえる日を目指して、これからも3月活动を頑張っていきます。



和牛甲子園優勝みかわ牛

みかわ牛便り



3号

昨年度、「畜産女子の青春の日々。和牛が未来に輝くために」をテーマに、自給飼料生産やJAの認知取得に挑戦した。第5回和牛甲子園では、取組推進部門、技術指導部門にも優秀賞をいただきました。さらにこの結果、優秀賞を手にしたことが、今年の「出荷した頭はどちらかみかわ牛に認定され、本校初のみかわ牛生産に成功した形となりました。日本一に輝いた大会後の反響は大きく、多くのメディアで私たちのことが伝えられ、共に私たちの和牛甲子園への取り組み、そして、その成果が、みかわ牛の姿に貢献できたこと、改めて実感しています。今年度は、2連覇を目指し、みかわ牛甲子園に向けた活動を行います。
今年度の和牛甲子園は9月10日と11日に実施した肉質診断結果を以て、第6回和牛甲子園に挑戦するみかわ牛も、もはやの方は、まもなく、と比べ、好成绩が出ています。前回よりももう一段階レベルアップしたみかわ牛で今年も和牛甲子園で優秀賞の獲得を目指します。そして、二度目の総合優勝という大きな称号が、みかわ牛の知名度向上にさらに貢献出来たらうれしです。
より多くの方に、愛知が誇る和牛ブランド、みかわ牛の名が広まるように、これからも頑張っていきます。



新しい差別化の基準

今、新しい差別化の基準として、オレイン酸があげられています。
オレイン酸とは、オリーブオイルや植物油などに多く含まれている脂肪酸の一種です。このオレイン酸が5%以上含まれているものが、良い牛と考えられています。また、このオレイン酸は、熔点が低いため、その含量が多いほど口溶けがよく、和牛独特の香りとされる「和牛香」が強く香ると言われています。さらに、人体に及ぼす影響も良いものが多いです。
どうしてこのオレイン酸が重要視されるようになったかということ、オレイン酸の出荷数が年々上がり、オレイン酸の含有率が無くなってしまうことが挙げられます。オレイン酸が増えるということは、生産者の方々が日々工夫し、経営されている成果であり、日本の和牛生産がレベルアップしていることを意味しています。他県では、このオレイン酸含有量を基準の一つとしたブランドも作られています。今後は、和牛生産において、オレイン酸の向上を目指すことも重要であるといえます。

オレイン酸の効果

- ・便秘解消
- ・生活習慣病
- ・コレステロール低下
- ・心疾患罹患率の低下

選美農高が

会長を訪問しました

六月九日、JA愛知経済連東三河センターへ選美農高の生徒2名が訪問しました。第5回和牛甲子園で最優秀賞を獲得し本校初のみかわ牛生産に成功したことを、みかわ牛銘柄推進協議会の中野会長様にご報告しました。
和牛甲子園とは、和牛を肥育する全国の農業高校生、「高校牛肉」たちの大会です。自分たちで育てた和牛の肉質と、日頃の取り組みを競う大会で、毎年多くの高校牛児が参加しています。選美農高も第3回大会から出場し、昨年1月に行われた、第5回和牛甲子園では、総合評価部門で最優秀賞を受賞し、日本一に輝きました。さらに、出品した2頭はみかわ牛に認定され、選美農高初となる、みかわ牛生産に成功しました。
これまでの選美農高の活動だけでなく、現在進めている活動についてもご説明させていただきました。すると、「私たち銘柄推進協議会も一旗になってがんばりたい」と心強いお言葉をいただきました。
中野様の熱い想いを感じ、私たちが一旗になって、みかわ牛の3活動に率先して取り組む決意を、改めて固めることができました。



みかわ牛生産者紹介

～渡辺 義苗さん～



生産者紹介の第3弾として渡辺さんの牛舎を見学させていただきました。
渡辺さんの牛舎は、5か月齢のスマイル和牛から出荷直前の大きな牛までを飼育しています。渡辺さんは牛の喜びが一番をモットーに飼育管理をされており、飼料には細かい部分までたわわることができる自家製の飼料を与えています。牛の「出荷に近い牛には、脂肪成長を促す一頭のみの飼育にする」と、牛へのストレスをなるべく緩和するなどの取り組みもされていました。他、牛の安全のために夜の牛舎回りや、空いた時間をラッシュシンプを使うなど、牛とのスキンシップをとるなどしていきまわります。牛への思いやりにあふれるとても温かい農場でした。



みかわ牛生産者紹介Vol.2

～いらご高木ファーム～

生産者紹介の第2弾として、いらご高木ファームさんの牛舎を見学させていただきました。いらご高木ファームさんでは、繁殖牛と肥育牛を飼育しています。どちらの牛舎も、学校と比べて何倍も牛房が広くて驚きました。天井が高いため風通しがよく涼しいです。さらに、牛が自分がかゆい場所を掻けるように、固定のブラシを設置してあることに驚きました。牛の生産だけでなく、牛のストレスや快適性にも気を配った管理をされている。素敵な農場でした。



学んだ工夫やこだわりを多くの人に“発信”

みかわ牛便りの作製



みかわ牛生産者訪問



全国和牛能力共進会



PR活動

取組3 全国和牛能力共進会

■ 全国和牛能力共進会とは

□ 5年に1度の和牛のオリンピック

□ 特別区「農業高校・農業大学の部」に出場

大会テーマ： 和牛新時代 地域輝く和牛力



取組発表テーマ： みかわ牛の知名度向上

“みかわ牛”の名前を知っていただくことに成功!

取組3 全国和牛能力共進会



みかわ牛キャラクター

島根県立出雲農林高校の皆さん

出会った方にオリジナルステッカーを配布

農業高校間の交流&知名度向上に貢献

みかわ牛便りの作製



みかわ牛生産者訪問



全国和牛能力共進会



PR活動

取組4 PR活動

■ 知名度調査結果（回答者 34人）

【みかわ牛アンケート】 ←

みかわ牛を知っていますか？ ←

はい ・ いいえ ←

みかわ牛を食べたことはありますか？ ←

はい ・ わからない ・ いいえ ←

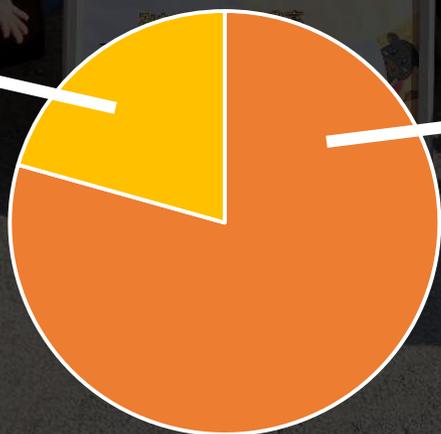
みかわ牛について、知っていることがあればご記入ください。 ←

←

←

いいえ（7人）

はい（27人）



- ・ 名前だけ聞いたことある
- ・ 食べたことはない

取組4 PR活動

PRにおける私たちの課題

肥育牛が出荷されるのは和牛甲子園のみ

→実際の牛肉を使ったPR活動は困難

みかわ牛

みかわ牛とは？
愛知が誇る
極上の和牛ブランド

どんな牛がみかわ牛？

- 認定農場で1年以上肥育
- 肉質等級4等級以上
- 県内3食肉市場から出荷
(名古屋、東三河、半田)

みかわ牛と渥美農高

平成31年	初めての和牛肥育開始！
令和元年	第3回和牛甲子園へ出場！
令和2年	「みかわ牛出荷者協議会」に加盟！ 「みかわ牛銘柄推進協議会」が設立！
令和3年	第4回和牛甲子園で初受賞！ 第5回和牛甲子園 日本一！
令和4年	出品した2頭が「みかわ牛」に認定！ みかわ牛PRを目指し活動開始！ みかわ牛便り、キャラクター作り、 地域でのPR活動 etc...

渥美農高 動物科学部による
みかわ牛紹介パンフレット

みかわ牛

みかわ牛

令和4年1月
第5回和牛甲子園の
出品牛がみかわ牛に認定！

※和牛甲子園とは
和牛肥育に取り組む農業高校生たちの全国大会

渥農産みかわ牛が
優秀賞獲得！

総合評価において
最優秀賞を獲得し
渥美農高が日本一に！

令和4年度の活動

みかわ牛のPRを目的に
“コロナ禍でもできるPR”
に挑戦中！

生産農家
約6

生産頭数
約2

飼養頭数

田原市
1,165頭

大府市
1,407頭

みかわ

牛肉を食べる以外の方法でもできるPRはある！

第6回和牛甲子園へ

■ 今年度の出品牛



みお号

令和2年7月15日生

美国桜・忠富士・安平



もも号

令和2年7月21日生

美国桜・安福久・平茂勝

第6回和牛甲子園へ

■ 肉質診断結果(20ヶ月齢時)

昨年度入賞牛	昨年度出品牛		今年度出品予定牛	
	まる号	はる号	みお号	もも号
ロース芯面積 (cm ²)	60.0	55.0	61.0	73.0
皮下脂肪厚 (cm)	2.3~	3.5~	3.2~	1.7~
	2.0	3.0	2.1	1.5
バラ厚 (cm)	7.4	6.5	7.1	8.1
BMS No.	10	7	8	10

みかわ牛の肉質等級基準は4等級以上

みかわ牛認定に充分に期待がもてる数値

新たな取組み

■ 生産農場訪問にて

牛を育てるだけでなく、
地域の特産品のキャベツで何かできない？



冬キャベツ生産日本一



外葉（不可食部）の廃棄

農業生産が盛んが故の課題

新たな取組み

■ キャベツの栄養的特徴

- ビタミンU（キャベジン）が豊富
- ビタミンCやカロテン含量多い



■ 肥育牛とカロテン(ビタミンA)

脂肪交雑向上のためVA制限

- 血中ビタミンA含量低下による
食いどまり(飼料摂取量低下)やVA欠乏症
- ビタミンA製剤の投与などで対応

キャベツのポイント給与で食いどまり防止？

新たな取組み



乾燥



粉碎
(粉末化)



粉末化したことで長期保存が可能に！

新たな取組み



地域の課題解決を目指して新たな挑戦!

“牛のため”を考えた
私たちの活動は今年で**最終章**

“最終章”は終わりではない
物語は**次のステージ**へ

“牛のため” “地域のため”の
私たちの和牛肥育に挑戦

